DJ-CH201/271　セットモードの設定と設定一覧

DJ-CH201/271 特定小電力トランシーバーは、各種機能を用途に合わせてより使いやすくするために、カスタマイズすることができます。製品に付属する説明書の「セットモード」の項目で簡単に使い方をご説明しておりますが、無線機の機能になじみの無いお客様向けに、本書にて詳細をご説明致します。
***文中、「設定値」は変更や設定ができる内容、「初期値」は出荷時の設定です。**

セットモード設定一覧

セットモード	機能説明	選択項目	初期値
bt	電池選択(リチウムイオン/アルカリ乾電池)	Li/AL	Li
CP	コンパンダー(バックノイズ低減)	OFF/ON	OFF
vo	VOX(音声検出自動送信)	OFF/Lo/Hi	OFF
SC	秘話	OFF/ON	OFF
bP	ビープ音(キー操作音、各種アラーム音)	OFF/1～5	1
EP	エンドピー(送信終了音)	OFF/ON	OFF
bL	ベル(呼び出しお知らせ)	OFF/ON	OFF
LP	ランプ	OFF/5 秒/ON	5 秒
PH	PTT ホールド(送信保持)	OFF/ON	OFF
Pt	PTT オンオフ(送信禁止)	OFF/ON	ON
At	中継器接続手順変更機能（DJ-CH271 のみ）	OFF / 1 / 2	2
Er	イヤホン 断線感知機能*	OFF/ON	ON
Cb	コールバック機能*	OFF/ON	OFF
Po	送信出力設定*	Hi /Lo	Hi
EmG	緊急通報機能*	OFF/ON	OFF

*新機能

セットモード機能の説明

1:　電池選択機能 「bt」

設定値 Li / AL（初期値 Li）
オプションのリチウムイオンバッテリーパック EBP-80 を使用する場合には、
バッテリー警告マークを正しく表示させるために使用する電池を選択してください。
この設定をしないと表示が不正確になります。
AL : アルカリ乾電池
Li　: リチウムイオンバッテリーパック EBP-80

2:　コンパンダー 機能 「CP」

設定値 OFF / ON（初期値 OFF）
コンパンダー機能を ON に設定すると、音声通話の明瞭度を上げる（通話中、音声が無いときに「サー」と聞こえるかすかなバックノイズを低減する）ことができます。コンパンダー機能のないトランシーバーと通話する場合には、コンパンダー機能は必ず OFF にしてください。逆に音質が悪くなることがあります。

3: VOX　機能 「vo」

設定値 OFF / Lo / Hi（初期値 OFF）

【PTT】キーを押さなくても自動的に送受信を切り替えられる機能です。 「話すと送信、黙ると受信」のハンズフリー通話が可能になります。

Lo : VOX 感度 小 （大きな音で反応します。 周りがうるさく黙っていても送信してしまう時にお勧めします。）

Hi : VOX 感度 大（小さな音で反応します。周りが比較的静かな時はこちらをお試しください。）

注）・VOX 機能は一部のオプションマイクでは使用できません。 取扱説明書のオプション一覧表をご覧ください。

・VOX 感度を「Lo」に設定しても、音声以外で送信してしまうような騒音の大きい場所では、この機能はご使用になれません。

・VOX 機能を使うと、通話を始めても送信するまでに多少時間がかかるため、音声の始めが途切れる場合があります。 「了解です、～～～」 「はい、～～～」など、用件に入るまでに頭切れしても差し支えないような言葉を挟んで話し始めると通話しやすくなります。

4:　秘話機能 「SC」

設定値 OFF / ON（初期値 OFF）

秘話機能を ON に設定すると、設定をしていないトランシーバーで受信したときには「モガモガ」のような声になって通話内容が聴き取れなくなります。秘話（スクランブルトーク）機能を搭載した弊社製トランシーバー間で通話することができます。

注）本機能のセキュリティレベルは非常に低いです。機密を要する重要な通話に使えるレベルのものではありませんのでご了承ください。

5:　ビープ 音量 「bP」

設定値 OFF / 1～5（初期値 1）

本体から鳴るビープ音（操作音）の動作を変更することができます。

OFF : すべてのビープ音（キー操作音、各種アラーム音、ベル音）が鳴らなくなります。

1～5: すべてのビープ音量レベルの調整ができます。

注）イヤホンを使用した状態でビープ音量を適度に設定してください、大きな音で耳を痛める可能性がありますのでご注意ください。

6:　エンドピー 機能 「EP」

設定値 OFF / ON（初期値 OFF）

【PTT】 キーを離した時に 「ピッ」 と鳴って送信が終わったことを相手に伝える 「エンドピー」 機能の ON/OFF を設定します。

7:　ベル 機能 「bL」

設定値 OFF / ON（初期値 OFF）

呼び出されたことを表示とベル音でお知らせします。

メモ）一度ベルが鳴るとその後約 10 秒間は着信ベル動作を行いません。

8:　ランプ 機能 「L P」

設定値 OFF / 5 秒 / ON（初期値 5 秒）

液晶ディスプレイ照明を点灯させる機能です。初期状態では「5」秒に設定されており、キー操作（PTT と音量調節以外）をすると自動的に 5 秒間照明が点灯します。

注）ディスプレイ照明を ON（常時点灯）に設定すると、電池の消耗が早くなります。

9:　PTT ホールド 機能 「PH」

設定値 OFF / ON（初期値 OFF）

【PTT】キーを一度押すと送信状態を継続、もう一度【PTT】キーを押すと受信状態になります。この機能を ON にすると、送信中ずっと【PTT】キーを押さなくても済みます。一部のイヤホンマイク・ヘッドセット系アクセサリーで【PTT】キーのロック機能が無いものをお使いになる時に代用できる機能でもあります。

注）PTT ホールド機能は一部のオプションマイクでは使用できません。取扱説明書のオプション一覧表をご覧ください。

10: PTT オン ／ オフ 機能 「Pt」

設定値 OFF / ON（初期値 ON）

送信を禁止する機能です。OFF に設定すると【PTT】キーを押しても送信できなくなります。ユーザーグループの中に「連絡を聞くだけで、返事はしなくてよい」というようなメンバーがいる時に使います。

メモ）この「ラジオ」のような無線機は業務通信の用語で「受令機」と呼ばれています。

11:　中継器接続手順変更機能「At」（※DJ-CH271 のみ）

設定値 OFF / 1 / 2（初期値 2）

中継動作自動接続手順を変更する機能です。接続タイミングを対応中継器に合わせて最適化する設定なので、 中継器を使っていない時は変更する必要はありません。

OFF : 自動接続手順解除

1 : DJ-R20D、DJ-R100D を中継器とする時。

2 : DJ-P10R、DJ-P11R、DJ-P101R、DJ-P111R を中継器とする時。

12:　イヤホン 断線感知機能 「Er」

設定値 OFF/ON（初期値 ON）

本体に取り付けられているイヤホンの断線を感知する機能です。イヤホン断線感知機能を ON に設定すると、起動時に断線感知動作を行い、もしイヤホンのコードが断線していると判断すれば 10 秒間、[Er nG]表示と内蔵スピーカよりアラーム音でお知らせします。

13:　コールバック 機能 「Cb」

設定値 OFF/ON（初期値 OFF）

コールバック機能を ON に設定すると、イヤホン使用時に送信中の自分の音声をモニターすることができます。

注）スピーカーマイク使用時にコールバック機能を ON に設定すると、ハウリングを起こすため正常に使用できません。

14:　送信出力設定 「Po」

設定値 Hi /Lo（初期値 Hi）

送信時の送信出力設定を変更することができます。

Lo:1mW 出力標準の Hi 設定時よりも、送信出力が小さくなります。

Hi:10mW 送信出力が大きくなり、Lo 設定時よりも広いエリアでの通信ができます。

15:　緊急通報機能 「EmG」

設定値 OFF/ON（初期値 OFF）

緊急通報機能を ON に設定すると、【GROUP】キーを 3 秒間押し続けることで「EmG-on」と表示され内蔵スピーカから緊急通報音が鳴ります。（緊急通報機能を OFF に設定している場合、【GROUP】キーを 3 秒間押すことでデュアルオペレーションモードでのサブ側を登録します。）

※緊急通報機能はキーロック中でも有効です。

緊急通報音が鳴っているとき、同じチャンネル（同じグループ）の無線機に対して緊急通報音が送信され、通信相手に注意喚起することができます。緊急通報音を停止させたい場合は、【PTT】キーを 1 回押すことで緊急通報音は停止されます。

以上